

JBL4350A 奮闘記(7) —PC オーディオ再生系の進展—

1. 始めに

前報(6)のデジタル再生系に引き続き、音楽信号を送り込む入力系としての PC オーディオ再生系の経過について報告いたします。

2. PC オーディオ再生系の取り組み

PC オーディオに取り組んだ契機は単身赴任先で CD や DVD を楽しむための簡便なものとして、AV 機能が強化された PC を選択し、光デジタルの出力を同軸に変換して DAC に入力することを始めたことに由来します。

その後、日立マクセルの Vraison (写真) を知り、ヘッドフォン出力に加えて、ライン出力があることから、CD や DVD 再生に Vraison の機能をいろいろと操作して楽しむようになりました。これらの経過はオーディオ実験室の PC オーディオのページに一連の PC オーディオのチャレンジのレポートとして収載してあります。



次に PC オーディオ用の音源取り込みのため Creative 製 Sound Blaster Digital Music SX (写真) を購入し、DAT その他から幅広く PC 用音源を取り込むことを始めました。これらの経過はオーディオ実験室の PC オーディオのページに一連の Sound Blaster による DAT 音源取り込みの報告に述べています。



この頃、PC によって音が変わることを経験し、静音 PC として、SSD ネットブック PC の東芝製 PANB100HNUF (Vista 機) (写真) を導入しました。これらの経過はオーディオ実験室の PC オーディオのページに静音 PC を使うという報告に述べてい

ます。



ここで PC オーディオに画期的な進展がありました。インフラノイズが USB-101 (写真) という DD コンバーター兼 DA コンバーターを発売したからです。USB-101 はさらに改善され USB-201 (写真) となりました。これらの経過はオーディオ実験室の PC オーディオのページに一連の USB-101 試聴記という報告と一連の USB-201 試聴報告という報告に述べてあります。



これらの DD コンバーター以外に ONKYO の ND-S1 (写真) も購入しました。ND-S1 は DD コンバーターとしても使えますが、iPod ドックとしての使用が主で iPod 内のファイル再生が JBL4350A のような大型スピーカーで行えるようになりました。



インフラノイズは上記の他に音楽再生用 USB メモリーとして USB-5 (写真) も発売しました。市販の USB メモリーや SD メモリーあるいは SSD を購入してきて種々改造を行いましたが、USB-5 を超える音質のものはできませんでした。USB-5 についてはオーディオ実験室の PC オーディオのページに一連の USB-5 試聴記というレポートとして収載しています。



一方ドライブにつきましては、評判の良い **Plextor CD-R/CD-RW ドライブ Premium 2U** (写真) の最終ロットを購入できました。これらの経過はオーディオ実験室の PC オーディオのページに一連の **PLEXTOR** による CD 再生の音質向上というレポートとして収載しています。



その他のストレージやドライブとしては、NAS の **LS-CH1.OTL**、DVD ドライブの **DVSM-X24U2V**、ブルーレイドライブの **BR-H1016SU2** も使用しました。**BR-H1016SU2** についてはオーディオ実験室の PC オーディオのページに PC オーディオにおける BD ドライブの活用というレポートとして収載しています。

このような PC オーディオの経過と並行してオーディオ仲間が **SD** トランスポート (写真) を製作されましたので、その評価も行いました。これらの経過はオーディオ実験室の PC オーディオのページに **SD** トランスポートの製作と評価というレポートで報告しています。写真は基板むき出しの状態ですが、木箱にいれたり、制振対策を施したり、電池を替えたりして楽しみました。



PC オーディオの再生ソフトについては入手可能なものを数多く評価し、次々と乗り換えてきましたが、オーディオ仲間が自作された **Stream Player** と **Bartok Player** をいただいてこれらが常用シフトとなっています。その経過はオーディオ実験室の PC オーディオのページに自作 PC オーディオ再生ソフトの試聴報告というレポートで報告し

ています。

以上のようなPCオーディオの経験を総括してオーディオ実験室のPCオーディオのページにPCオーディオ総括として報告しています。

3. まとめ

上記のようにPCオーディオについては、かなりのエネルギーを投じて実施してきましたが、USB-101の音質は衝撃的でしたし、改善されたUSB-201はGPSクロックとの組み合わせで、未だにこれを超えるものが市場に現れていないと信じています。さらに、USB-201の出力をCCV-5に入れ、ここにもGPSクロックを入れることによってさらに進歩して現在に至っております。

なお、USB-101とUSB-201は、それまでのデジタルプレイヤーを色あせたものにしてしまい、後にEMTのプレイヤーを導入するまではPCオーディオの優位性を信じ込んでしまうほどのインパクトがありました。

以上